

中高生の力作好評 学生映画祭閉幕

【夕張】国内外の学生が作った映像作品を上映する「夕張国際学生映画祭2008」(実行委主催)が二十四日に市内のホテルで最終日を迎え、海外の学生作品や、市内の中学生と高校生が作った作品など計十二本が上映され、閉幕した。

最終日の「国際学生映画AWARD」部門では、初日に国内の学生を対象にした「国内学生映画AWARD」部門でグランプリに選ばれた「少年少女」を含む、四万八千作品が上映された。会場には約三十人が訪れ、東京学生映画祭に出品された作品や、中国やブラジルの学生が作った作品に見入っていた。市内の緑陽中三年の佐々木亮介君の作品で、同級生が引き起こした事件で次々に命を狙われる中学生を描いたミニステリー



3日間の開催期間を終えて閉幕した夕張国際学生映画祭2008の閉会式

「スロンのなる頃にと、君が夕張岳の自然を記録した」エコ・ミニシアター

ム・ゆうばりー2008冬」も上映され、地元の見客を喜ばせた。

「国際学生映画AWARD」の結果は後日、同映画祭のHP上で発表される。http://www.yubarifilm.com/2008/ (田島工幸)